

20 土 木 第234号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

芦別市長 林 政 志
(経済建設部都市建設課土木係)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい
願います。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

北海道芦別市

芦別市は、全国の都市部の中でも広大な面積を有し、豊かな自然に恵まれています。しかし、平成4年度に基幹産業の一つでありました三井石炭鉱業（株）が閉山したことにより、関連する企業の撤退や倒産が相次ぐなど、人口の減少にハドメがかからないばかりでなく、国の公共事業の削減に伴い市内の建設業者の倒産や廃業が相次ぐなど、地域経済を取り巻く環境は、一向に回復の兆しが見えない状況が続いております。

このため、市の財政状態は、ますます難しい行財政運営を迫られるなど、厳しい状況が続いております。

また、本市でも高齢者の増加が急速に進んでいることから、交通移動手段としての自動車交通の重要性が見直され、市民生活に最も密着した市町村道に至る道路網の計画的・体系的整備を必要としており、圏域間の交流・連携の強化、市民の命にかかわる救急搬送といった地域医療の充実などを図る上で、道路網の整備が最も重要と考えております。

さらに、冬期間には5メートルを超える降雪量を記録する本市にとりましては、除排雪体制の充実・堅持が最優先課題と考えており、必要とする安定的な財源確保が求められているほか、市民が日常利用する生活道路においても維持補修に要する費用について、新たな財源手当てが必要となってきました。

以上のことから、道路特定財源の一般財源化に当たっては、地方の特殊事情に配慮した真に必要なとする道路の整備や維持管理に要する財源確保を明確にすることや、地域の道路整備のさまざまな課題に対応することができる地方道路整備臨時交付金制度を継続し、さらに拡充することを要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

北海道芦別市

○ 現 状

一般国道４５２号は、平成５年４月１日に道道から国道に昇格しました。芦別市側の６．８キロメートル、旭川市側の６．１キロメートル、１２．９キロメートルの一部区間が未開通区間になっており、道内の国道では唯一未開通になっていることから、地域産業の振興及び沿線地域の連携を促進するため、早期開通の要望について建設促進期成会を通じ行っている。

○ 課 題

平成５年４月１日に道道から国道に昇格して以来、１５年が経過しており、未だ全線供用のメドが立っていない状況にある。

一般国道４５２号は、道央圏空知と旭央圏の旭川空港を結ぶ臨空産業観光の基幹国道として、空港に近接する工業団地への企業誘致や、産業・経済の物流及び地域間交流を促すとともに、北海道広域観光ルートとして大きな経済効果が期待される重要な路線になっている。

また、防災対策の面で、道央と道北を結ぶ、避難経路、物流経路、救急搬送経路としても早急に整備を必要とする重要な路線であることから、未開通区間の早期解消が課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

北海道芦別市

本市の基幹産業は、製造業、農林業及び観光産業が重要なウエイトを占めているが、特に製造業については上芦別工業団地に市内を代表する精密ベアリング製造企業が創業しているほか、西芦別地区には、この関連する進出企業の工場立地や定住人口を促進するための宅地整備が進んでいる。

現在、新千歳空港を利用して精密ベアリングを海外に輸出していることから、コスト的に一般国道４５２号を利用して旭川空港を使用した場合、輸送時間の短縮に繋がり利便性の向上が期待できるため、早期の供用開通が緊急の課題となっている。

さらに企業誘致や、産業・経済の物流及び地域間交流を促すとともに、北海道広域観光ルートとして大きな経済効果が期待されているばかりでなく、地域の目指すべきまちづくりにおいても重要な路線になっています。

一般国道４５２号は、市街の中心部を南北に縦断する形で通過していることから、まちづくりを進める上で大変重要な役割を担っています。この一般国道４５２号に市道が接続されているため、交通量の増加に伴い子供達や高齢者の通行の安全を確保するため、経年劣化している歩車道の整備が急がれている。

また、除排雪体制の充実・強化が求められているため、冬期間見通しの悪い交差点部の改良を国道の管理を行っている国と協力しながら「暮らしやすいまちづくり」を目指して歩車道の整備や交差点部の改良に取り組むことにしています。

今後の道路行政についての意見・提案

北海道芦別市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・圏域交流の促進 ・防災対策の強化 ・安心・安全な道路の維持確保 ・市民要望の動向を把握し、最大限の事業効果を図る	一般国道452号の早期全面開通 既存道路の維持補修に係る財源の確保	1. 道央圏空知と旭央圏の旭川空港を結ぶ臨空産業観光の基幹国道としての機能があるため、企業誘致や産業・経済の物流等の圏域交流の活発化による経済効果が期待される。 2. 本ルートの開通により、十勝岳噴火等に対する道央と道北を結ぶ、避難経路及び救急搬送経路としての、防災対策の強化のための重要な路線である。 1. 安心・安全な生活をする上での道路の維持や整備をすることによって、市民が安心して暮らせる生活環境の場を提供できる。 2. 地域の実情に応じた道路整備が実現できる。 3. 冬期間の除排雪体制の継続維持確保が期待できる。	